

受講者  
募集

平成29年度 まちづくりゼミナール

社会福祉施設等の社会貢献活動と  
その専門性を活かした地域の課題解決

社会福祉法改正に伴い、社会福祉法人の地域における公益的な取り組みが実施される中、その専門性を地域福祉活動に活かすことで地域が抱える様々な課題に対する解決の可能性やその効果、また、取り組みの中で発生してくると思われる地域との問題点について考えることができる講座です。



と き: 9/12、10/17、11/14(全3回)  
すべて火曜日、10時~12時  
と ころ: ウェルとばた12階 H・I研修室  
実 施: 北九州市社会福祉協議会・北九州市  
受講料: 無料  
対 象 者: 校(地)区社協・地区民児協・  
まちづくり協議会役員等  
申 込 方 法: 電話又は所定申込用紙による郵送・FAX

■ 公益活動(9/12)

社会福祉法人の公益活動に  
地域が期待するものは何かを考える。

- 事例I 八幡東区 大蔵第一地区社会福祉協議会  
会長 梅本 治孝
- 事例II 社会福祉法人 薫会  
理事長 曾我 満美

■ 第3回(11/14)

企業による社会貢献活動で地域が望むもの、  
企業ができることを考える。

- 事例V 北九州農業協同組合  
営農企画課長 池尻 正昭

■ 第2回(10/17)

保育園、障害者施設の専門性を  
活かした社会貢献の在り方考える。

- 事例III 若松区 鴨生田校区社会福祉協議会  
ふれあいネットワーク部長 久保田 京子
- 事例IV 社会福祉法人 北九州市保育事業協会  
千防保育所 施設長 内田 リツ子

まとめ

社会福祉施設や企業が持つ専門性を  
地域の課題とどううまく結びつけていくか。

ゼミナールのコーディネーター役  
社会福祉ボランティア大学校 校長 山崎 克明

シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」⑱

地域の方々とのおつきあい

小倉北区萩崎町に特養並びにデイサービス事業を設立して26年が経ちました。当初は閉鎖的社会環境で、高齢者介護は家族が担うとの認識が強い時代でした。施設数も少なく、ご家族は特養に身内を入所させる事に大きな抵抗感があるというのを肌で感じたものです。デイサービスでは、施設名の入った車両で送迎しない等、懐かしく思い出すエピソードも沢山あります。介護保険の導入を境に老人福祉環境が変化し、今後団塊世代が高齢者となる数年後には、取り巻く環境は更に人的・物質的変化が起こりうると予想されますが、今のままの地域の方々との関係で良いのかと心配することもしばしばです。

当法人での地域の方々との良好な関係作りを振り返れば、まずは地域の方へ社会福祉法人を認知していただけるよう、身近に安心して頼られる存在になりたいと発信してきました。地元中学校区だけでなく、施設を中心に周囲の校区社協の皆様と顔馴染みになり、敬老会のお手伝いや盆踊りの参加等徐々に広がり、各校区社協役員の方々よりお手伝い依頼が入り、今ではお互いの年中行事に組み込まれる関係が出来上がっています。また、社会福祉法人の持つ専門的知識や技術を地域住民の方々へ使っていただきたいと始めた講習会もここ数年は各市民センターへの定期出前講演と成長し、その講演に参加された別の市民センターへご紹介・依頼と良い流れと輪が広がり、地道に続けた地域への想いが結実していることはただ感謝です。



社会福祉法人 薫会  
理事長

曾我 満美 さん



本年度、社会福祉法が改正され、我々社会福祉法人の責務として社会貢献が明文化されましたが、お陰さまで当法人はこれまで通りの活動を軸に輪を広げていけば、結果社会貢献に代わるのだと安堵しているところ。さらに、こうして顔見知り・顔馴染みの関係が広がり、施設ボランティア活動を申し出て下さる方が増え、お一人で参加される方が施設でのお仲間が出来たと喜んで下さいます。お役に立てた・お喋り出来たと笑顔で帰られるうしろ姿を見送る時、ボランティアを受ける施設の位置付けだけでなく、人と人を繋ぐお役目を果たす喜びもあります。ボランティア活動・市民活動の活性化はこうしたお互いの笑顔で成り立つものだと思います。

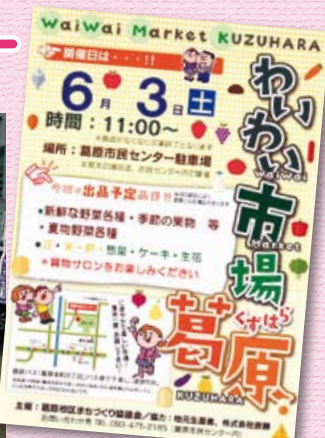
個人情報保護法制定で更に進んだ個人主義風潮が、ボランティア活動や福祉活動の広がり・定着する事で顔の見える地域社会へ今一度戻れますようにと期待を込めて玄関でボランティアの方々は笑顔でお見送りする毎日です。

子供の頃、ご近所のおじちゃん・おばちゃんから褒められ、叱られ、お手伝いして、遊んでもらって…懐かしく思い出すのは私一人ではないはずです。笑顔で暮らせるように共に活動できる地域であると信じ、お互いさまの精神でおつきあいをしたいと願っています。

研修レポート まちづくりゼミナール

今回は、「買い物支援で高齢者にいきがい」をテーマに葛原校区で開催されている買い物支援の視察を行いました。

校区の方々の発表の中で活動の経緯や思いを聞くことや実際の活動をみることで、受講者の皆さんが安心して暮らせる支え合いのまちづくりをするためには、今、自分の地域に何が必要かということを考えるきっかけづくりになったのではないかと思います。



研修レポート 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修

この研修は、今年度新たに校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方を対象に開催し、79名の受講がありました。

小地域福祉活動の要である校(地)区社会福祉協議会の役員として必要な知識を学ぶとともに、先輩役員の事例発表を聞き、今後の活動の基本を理解し、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくかを考えました。

